

(注) 本報は、主に現地紙における報道を当館限りで日本語でまとめたものです。記事の中の客観事実は日本政府や現地政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承ください。

ベナン月報(2019年7月)

【内政】

- 15日、タロン大統領は、自身が5月20日に提唱した野党との直接対話を行うべく「協議会合」を開催し、各政党代表者11名を招待して大統領府で会談した。アザナイ元国防相率いる野党RE党は、招待を受けたものの会合を欠席した。(16日、La Nation 紙)
- 30日、小西淳文在ベナン日本国大使は、ヴラヴォヌ国民議会新議長を表敬訪問した。(31日、La Nation 紙)

【外政】

- 7日、ニアメにて開催された第12回AU臨時首脳会議において、アフリカ大陸自由貿易協定(AfCFTA)にベナン、ナイジェリアが署名した。ブハリ・ナイジェリア大統領と共にタロン大統領が署名を行ったことで、ベナンは第54番目の加盟国となった。(8日、L'Économiste 紙)
- 28日-30日、インドのゴヴィンド大統領がベナンを公式訪問し、開発資金として1億米ドルの借款の供与を約束した。(29日、La Nation 紙、30日、L'Économiste 紙)

【治安】

- 3日、閣議は密猟が横行するW国立公園の安全確保のため、約3億4,700万フランCFAの予算計上を決定した。(4日、Le Matinal 紙)

【経済】

- 5日、コトヌで開催されたアフリカ貿易保険機構(ATI)年次総会にて、三菱UFJ銀行はATIとの間で、アフリカへの貿易・投資促進に関する協力を目的とした覚書を締結した。(8日、L'Économiste 紙)
- 13日、ルクセンブルグで開催されたアジア・インフラ投資銀行(AIIB)第4回年次会合にワダニ経済・財務相率いるベナン代表団が参加し、ベナンは、ジブチ及びブルワンダとともに加盟を承認され、加盟国の数は100に到達した。(16日、Le Matinal 紙)
- 17日の閣議は、ニジェール・ベナン石油パイプラインの実施に係るニジェール・ベナン両国間合意を了承し、国民議会の批准手続に回した。本年1月の同合意を受け、ベナン・中国CNODC社(中国石油国際勘探開発有限公司。CNPCの子会社)間で、本件石油輸出パイプライン事業に係る契約交渉が行われた。(19日、La Nation 紙)

※下記内容は、La Nation 紙、Le Matinal 紙、L'Événement Précis 紙、L'Économiste 紙、La Nouvelle Tribune 紙および Le Matin Libre 紙の記事を元に記載したものです。

【内政】

- ・ 12日, 国民議会は, 2004年12月に国連総会で採択された「国家及び国家財産の裁判権免除に関する条約」を批准した。(15日, La Nation 紙)
- ・ 12日, 4月15日に開会した国民議会2019年第1通常会期が閉会した。(15日, La Nation 紙)
- ・ 15日, タロン大統領は, 自身が5月20日に提唱した野党との直接対話を行うべく「協議会合」を開催し, 各政党代表者11名を招待して大統領府で会談した。アザナイ元国防相率いる野党RE 党は, 招待を受けたものの会合を欠席した。(16日, La Nation 紙)
- ・ 25日, ブリュモ在ベナン仏大使は, 4月28日の選挙で選出されたヴラヴォヌ国民議会議長を表敬訪問した。(26日, La Nation 紙)
- ・ 30日, 小西淳文在ベナン日本国大使は, ヴラヴォヌ国民議会新議長を表敬訪問した。(31日, La Nation 紙)

【外政】

- ・ 2日, モスクワを訪問中のヴラヴォヌ国民議会議長は, ロシアの国会議員と両国の議会間協力について意見交換を行った。(3日, L'Événement Précis 紙)
- ・ 4日, 米国, ベルギー, トルコ, キューバ, ヴェネズエラの5か国の在ベナン大使がタロン大統領に信任状の奉呈を行った。(5日, La Nation 紙)
- ・ 7日, ニアメにて開催された第12回AU臨時首脳会議において, アフリカ大陸自由貿易協定(AfCFTA)にベナン, ナイジェリアが署名した。ブハリ・ナイジェリア大統領と共にタロン大統領が署名を行ったことで, ベナンは第54番目の加盟国となった。(8日, L'Économiste 紙)
- ・ 15日, 在ベナン・仏大使館は, 外交団を招きナショナル・デーの記念式を実施した。ベナン閣僚の出席はなかった。(16日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 28日-30日, インドのゴヴィンド大統領がベナンを公式訪問し, 開発資金として1億米ドルの借款の供与を約束した。(29日, La Nation 紙, 30日, L'Économiste 紙)

【治安】

- ・ 3日, 閣議は密猟が横行するW国立公園の安全確保のため, 約3億4,700万フランCFAの予算計上することを決定した。(4日, Le Matinal 紙)
- ・ 5日, サッカー・アフリカ杯決勝トーナメント初戦でベナンはモロッコに勝利した。コトヌにおいて, 勝利の歓喜に乗じた騒動で1名が死亡し, 13名が負傷した。(8日, L'Événement Précis 紙)
- ・ 11日, 政府はタンゲタ市において季節性マラリアに対する予防キャンペーンを開始した。(12日, Le Matinal 紙)
- ・ 22日, モノ県・クフフォ県税関局は, コマセ(Kpomassè)市セゴウエ(Sègbohouè)地区において, 3,000箱(700kg 相当)の偽造薬を押収した。(25日, Le Matinal 紙)

【経済】

- ・ 1日, 世界銀行の理事会は, 国際開発協会 (IDA) からベナンに1億米ドル(600億フランCFAに相当)の貸付けを行うことを承認した。この支援は, 農村地域でのブロードバンド・サービスへのアクセス, バリューチェーン強化のための電子的な解決の促進を目的としている。(3日, L'Économiste 紙)
- ・ 6月27日-29日, 中国・長沙で開催された第1回中国アフリカ経済貿易博覧会(CAETE)にアイス産業・商業相, ガンベ投資・輸出促進局(APIEX)局長らが参加し博覧会終了後の30日, ガンベ局長は深圳市蛇口工業区を, 翌7月1日には寧波市, 崑山市の工業区を視察し, ベナン側の行政・ビジネス環境改革の進行の現状につき説明し, 経済・商業特区の設置に対する支援を要請した。(4日, La Nation 紙)
- ・ 7月3日-5日, コトヌにおいてアフリカ貿易保険機構(ATI)第19回年次総会が開催され, 右に先立つ4日, ATI第6回投資家円卓年次会合が開催された。これら会議に参加すべく, 英Lloydsを始めとする世界の保険業の代表者が当国を訪れた。(8日, L'Économiste 紙)
- ・ 3日, コトヌにATI西アフリカ地域事務所が正式に開設され, ワダニ経済・財務相が開所式を行った。(8日, L'Économiste 紙)
- ・ 5日, コトヌで開催されたアフリカ貿易保険機構(ATI)年次総会にて, 三菱UFJ銀行はATIとの間で, アフリカへの貿易・投資促進に関する協力を目的とした覚書を締結した。(8日, L'Économiste 紙)
- ・ ベナン郵便・電子通信規制局(Arcep-Bénin)は年次報告で, 2018年末でのベナンにおける携帯電話の利用者は約946万人と推計され, 2017年末の約877万人から7.85%増加したと発表した。(9日, L'Économiste 紙)
- ・ ベナン郵便・電子通信規制局(Arcep-Bénin)の年次報告によれば, 2018年ベナンにおける電話を通じた送金額の合計が約2兆81億フランCFA(約400億円)に達し, 前年の約1兆975億フランCFAから著しく増加した。(10日, L'Économiste 紙)
- ・ 9日, ペン(彭)在ベナン中国大使は, コトヌにおいて計画・開発省官房長と共に第2回「一帯一路」セミナーを開催し, 一帯一路の5つの優先分野(政治面の調整, インフラの接続, 貿易円滑化, 金融統合, 人民間協力)がベナンにもたらす機会を説明した。(11日, L'Événement Précis 紙)
- ・ 13日, ルクセンブルグで開催されたアジア・インフラ投資銀行(AIIB)第4回年次会合にワダニ経済・財務相率いるベナン代表団が参加し, ベナンは, ジブチ及びビルワンダとともに加盟を承認され, 加盟国の数は100に到達した。(16日, Le Matinal 紙)
- ・ コトヌ自治港運営局は, 2019年1月から5月の間に467隻の船舶がコトヌ自治港に寄港したことを発表した。(前年同期比で7%増)(15日, L'Économiste 紙)
- ・ 独立減債基金局(CAA)の報告により, ベナンの2019年第1四半期の公的債務が約3兆7642億フランCFA(約752億円)に上ることが明らかになった。2018年第4四半期は約3兆2518億フランCFA。(18日, L'Économiste 紙)

- ・ 17日の閣議は、ニジェール・ベナン石油パイプラインの実施に係るニジェール・ベナン両国間合意を了承し、国民議会の批准手続に回した。本年1月の同合意を受け、ベナン・中国 CNODC 社(中国石油国際勘探開発有限公司。CNPC の子会社)間で、本件石油輸出パイプライン事業に係る契約交渉が行われた。(19日, La Nation 紙)
- ・ 24日, 仏石油会社トタルは, ワダニ経済・財務相, ウス・エネルギー大臣と液化天然ガスの供給に係る契約を締結した。(25日, L' Économiste 紙)
- ・ 31日, 小西淳文・在ベナン日本国大使とウンパタン保健相は, 草の根・人間の安全保障無償資金協力を通じたタンゲタ市サン・ジャン病院への救急車2台供与に係る引渡式に出席した。(8月5日, Le Matinal 紙)

【文化・その他】

- ・ 2日, モスクワ訪問中のヴラヴォヌ国民議会議長は, 露・ベナン協力としてベナン人学生を対象とした奨学金の給付に係る合意をロシア国会副議長との間で署名した。(5日, L' Économiste 紙)
- ・ 5日, 6月に実施された初等教育終了証書(CEP)取得試験の結果が公表された。ベナン全土での合格率は84.18%であった。(8日, Le Matinal 紙)
- ・ 6月19日から7月8日にかけて, ベナン当地紙記者20名が北京の中国国際出版集団(CIPG)に招待され, 一帯一路, 地上波デジタル・テレビ放送他に係るメディア研修に参加した。7月25日, ペン(彭)在ベナン中国大使は, 参加者の報告書を受け取った。(30日, L' Économiste 紙)
- ・ 10日, 6月に実施されたバカロレア取得試験の結果が公表された。ベナン全土での合格率は50.1%であった。(11日, La Nation 紙)
- ・ 17日, タロン大統領によりレミ・プロスペール・モレッティ前カンディ市第2助役(情報技師)が高等視聴覚通信局(HAAC)委員長に任命された。(18日, La Nation 紙)
- ・ 23日, 仏語圏テニス連盟はウィダ市アヴレケテにテニス・アカデミーを設立する計画を発表した。
- ・ 30日, アボメ・カラヴィにある中国孔子学院は, 開設10周年を記念する式典を実施した。(31日, La Nation 紙)